

新春 2025 対談

美術作品と向き合うときに、
答えを求めたりしない。解釈を加えたり、
身体で感じることで別の次元に連れて行って
くれるのがアートだと感じました。保坂区長

クリエイティブなものに熱中すると、
自然に健康になっていくような気がします。
この歳まで生かされているのは、
絵を描いているからだと思いますね。横尾忠則さん

1960年代から成城にお住まいで、世界的に著名な美術家、横尾忠則さん。昨年9月に世田谷区名誉区民に選定されています。4月26日から6月22日の日程で開催される世田谷美術館での展覧会を控え、その創作の舞台裏、世田谷区での暮らし、年齢を重ねていくこととアートについて、若い頃から横尾さんに注目してきたという保坂展人区長がお話を伺いました。

絵は理屈ではない。 自力と他力が合体した形で 作品が生まれる

区長 あけましておめでとうございます。皆さん、清々しい気持ちで新年をお迎えのこととします。さて今年の新春対談は、美術家で世田谷区の名誉区民でもある横尾忠則さんをお招きしました。横尾さん、よろしくお願いします。

横尾さん あけましておめでとうございます。よろしくお願いします。

横尾
忠則さん

1936年兵庫県生まれ。美術家。1956年からグラフィックデザイナーとして活動し、1972年ニューヨーク近代美術館で個展。その後もパリ、ヴェネツィア、サンパウロなど各国のビエンナーレに出品。1980年代に画家へ転身し、国内外の美術館で個展を開催。国際的に高い評価を得る。2008年には世田谷美術館で個展開催。2012年に兵庫県立横尾忠則現代美術館、2013年に香川県に豊島横尾館を開館。主な受賞に毎日芸術賞、旭日小綬章、朝日賞、高松宮殿下記念世界文化賞。令和2年度東京都名誉区民顕彰、2023年日本芸術院会員。文化功労者に選ばれる。著書には小説『ぶるうらんど』（泉鏡花文学賞）、『言葉を離れる』（講談社エッセイ賞）など。

区長 4月からの世田谷美術館での展覧会を控え、お忙しいのではないのでしょうか。お正月でも絵筆は握られているのですか？

横尾さん そうですね、ほぼ毎日アトリエには出かけています。自転車に乗って（笑）

区長 俳諧の連歌からとって、連画というタイトルだとお聞きました。どんな作品が並ぶのでしょうか。

横尾さん 連歌の場合は歌を次々と別の人がつないでいくわけですが、僕の場合は絵だから画になったわけですね。僕の郷里、兵庫県西脇市に子どもの頃よく遊びに行った鉄橋のある川があるんです。そこで同級生たちと40年ほど前に撮った写真から着想を得て、そこから連続的に生まれてきた絵を見ていただきたいと思います。

区長 鉄橋での写真から始まり、起承転結といった絵の組み立ての展開を全部考えてから描かれるのですか？

横尾さん いいえ。1枚の絵ができますよね、その1枚からヒントを得て次の作品を描いていく、次の作品でまたヒントを得て描いていく。そういう意味での連画なんです。

区長 連歌は数人で歌を詠んでいくわけですが、それをお一人でやっているわけですね。どれくらいの時間をかけて制作されているのですか。

横尾さん 作品を眺めている時間も結構ありますからね。描く時間よりも眺めている時間の方が長いかなと思います。そのかわり、描き出すと一気に呵成に描いちゃいますから、早いことは早いです。

区長 大変なエネルギーですね。

横尾さん 頭で考えて、観念とか言葉で構築して作品を作るんじゃなくて、むしろ身体的というか肉体的にキャンパスに向かいますので、アーティストというよりもアスリートに近いんですよ。だから、瞬発芸みたいな感じで。ア

スリートの方たちは瞬間的には頭は真っ白だと思うんです、何も考えていない。それと同じ状態を僕は絵の時にやっているわけです。何か考えが介在してくると、絵が理屈っぽくなっていくんです。だからできるだけ考えない、という状態に自分を置き換えてから向かいますね。

区長 そうすると、なにか内側から湧いてくるのか天から降ってくるのかわかりませんが、描きながら生まれてきた着想をそのままの絵にしていく作業ですか。

横尾さん そうですね。僕にも内側からか、天からかよくわかりませんが、その両方でしょうね。自力と他力が合体した形で作品が生まれるような気がします。

区長 では、どういう絵になるのか、やってみないとわからないのですか。

横尾さん 描いている本人も、やってみないとわからないです。「こんな絵を描きます」じゃなくて、「こんな絵が描けちゃいました」という、ちょっと他人事っぽいですが、でもそういう感じなんです。

著名な文学者、映画人との ご近所付き合いが創作の刺激に

区長 横尾さんは世田谷にお住まいになって何年くらいになりますか。

横尾さん 1961年ぐらいに世田谷に来ましたから、64年か65年になりますね。

区長 今日でも自転車でお越しになりましたが、自転車で颯爽とまちを走る姿、結構有名だそうですよ。

横尾さん そうですか。ま、うろろうしていますからね（笑）成城には文化人、芸術家、著名